

2023年度 日本社会福祉学会関東地域ブロック研究大会 自由研究報告

分科会	座長	時間	部門	報告者	所属	演題
第1分科会	久保田 純 増田 幸弘	9:30~9:55	(発表予定者の都合により報告取り下げ)			
		10:00~10:50	研究報告部門	孫 宜燮	一橋大学大学院	路上生活経験者が山谷地域に引きつけられる要因 —山谷調査からみえるもの
		11:00~11:50	研究報告部門	三宅 雄大	お茶の水女子大学	生活保護利用世帯出身者の大学進学及び就学継続に関する研究 —転出就学者の事例を通して
第2分科会	中島 修 高木 寛之	9:30~9:55	萌芽的研究報告部門	李 艶舒	早稲田大学大学院	障害福祉サービスにおける利用者や家族等によるハラスメントに関する研究
		10:00~10:25	萌芽的研究報告部門	岩田千亜紀	法政大学	交差性概念を用いた性暴力被害者支援の必要性 —不可視化された性暴力被害者への支援についての考察から
		10:30~10:55	萌芽的研究報告部門	金井美穂	上智大学大学院	スクールソーシャルワーカーによる子どものアドボカシーの概念図の提案
		11:00~11:50	研究報告部門	張 秀賢	東京都立大学大学院	成年後見制度におけるアドボカシーの位置付け —社会福祉学からの視点
第3分科会	久保 美紀 堀米 史一	9:30~9:55	萌芽的研究報告部門	安 然	無所属	若者の自殺に関する日本の研究の課題と動向 —計量テキスト分析(テキストマイニング)を通して
		10:00~10:25	萌芽的研究報告部門	渡辺 修宏	国際医療福祉大学	応用行動分析学に基づく援助者と被援助者のラポール構築の検討 —仮説構成概念に依らない信頼関係の可能性—
		10:30~10:55	萌芽的研究報告部門	鈴木身 and 子	北里大学病院	スピリチュアリティに関するソーシャルワーカーの意識 —緩和・終末期と地域のソーシャルワーカーに対する調査分析を通して—
		11:00~11:50	研究報告部門	李 恩心	昭和女子大学	相談支援の法的位置づけと福祉アクセシビリティ確保 —日韓の社会福祉に関する法制度の比較検討を通して
第4分科会	疋 洋一 野口 友紀子	9:30~9:55	萌芽的研究報告部門	打越 友実	神奈川県立保健福祉大学	ソーシャルワークの「最善の利益」と「beneficence」についての一考察
		10:00~10:25	萌芽的研究報告部門	平塚 謙一	常磐大学	リハビリアニズムにおける自由の概念に関する考察
		10:30~10:55	萌芽的研究報告部門	原田 玄機	高崎経済大学	知的障害者福祉施設の拡大過程に関する端的的研究
		11:00~11:50	研究報告部門	青木 尚人	立教大学社会福祉研究所	戦中期大阪府社会事業主事と方面委員の関係性に関する研究 —大阪府の一次史料を題材として
第5分科会	贄川 信幸 岡田 哲郎	9:30~9:55	萌芽的研究報告部門	新保 幸男	神奈川県立保健福祉大学	こども計画とヒューマンサービス
		10:00~10:25	萌芽的研究報告部門	小林 理	東海大学	社会的養護における人材育成についての研究動向(1)
		10:30~10:55	萌芽的研究報告部門	小田島 朋	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	医療的ケア児等コーディネーターの活動と所属組織の業務の関連 —インタビュー調査に基づく主な役割と課題の検討
		11:00~11:50	研究報告部門	小倉常明	東京通信大学	旧優生保護法下におけるハンセン病療養所での妊娠・出産・養育に関する一研究
第6分科会	稲垣 美加子 豊田 宗裕	9:30~9:55	萌芽的研究報告部門	古山 智	神奈川県立保健福祉大学大学院	福祉型障害児入所施設の社会的養護の現状に関する研究
		10:00~10:25	萌芽的研究報告部門	高橋かすみ	神奈川県立保健福祉大学大学院	児童相談所における人材育成に関する研究 —社会的背景から見た現状と課題
		10:30~10:55	萌芽的研究報告部門	二宮 知康	神奈川県立保健福祉大学大学院	社会的養護にある子どもの心理的自立に関する研究 —文献から見る児童養護施設における自立支援の成果と展望
		11:00~11:50	研究報告部門	安發 明子	立命館大学大学院	フランスの在宅教育支援ソーシャルワーク実践の研究 —ソーシャルワーカーの担当家族2年間の記録から